

次世代研究者挑戦的研究プログラム

大阪市立大学・大阪府立大学の『伝統の発展的継承』

リゾーム型研究人材育成プログラム

事業統括：重松 孝昌

さまざまな課題を抱える都市・大阪

地域に根ざした公立の総合大学
ならではの社会貢献を志向



まちをつくることは、人をつくること



新たな知を創生するとともに総合知を養成し、地域・社会の課題解決を通してグローバル社会を牽引するあらゆる研究課題を対象

- ・ 社会課題の解決に資する研究
- ・ 先導的複合研究領域を創成する研究
- ・ 未来社会の創出に資する研究

支援学生の責務

1. 副研究科等の指導教員を設定し、複合知の研究の推進
2. 研究進捗状況報告会（半年ごと）にて、進捗状況の報告
3. 大学院共通教育科目から一定数の単位取得
（英語教材等コンテンツ提供による履修機会の拡充）
4. 国内外留学（3～6ヶ月程度：必須）
5. 長期インターンシップ（3ヶ月程度：推奨）
6. 研究論文発表・国際会議への参加
7. JST指定の研究倫理教育及び本学の定めるコンプライアンス教育の受講
8. 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員に申請

支援メニュー

- a. リゾーム研究奨励費：年間220万円（研究費20万円を含む）支援期間中に最大150万円
- b. 長期インターンシップ支援（3ヶ月程度を目安）
- c. 国際学会・海外
- d. 国内外留学支援費：サマースクール渡航費・参加費等支援：申請
- e. 研究論文投稿支援費（翻訳費用を含む）：申請
- f. 自主研究プロジェクトの開催支援：申請
- g. キャリア・ネットワーク形成支援：申請

- メンター相談以外に、学生あるいは指導教員も交えた自由ディスカッションの場の提供 / 有機的な連携の促進
- 気軽に相談できる環境の提供

- 外部資金獲得のための支援、セミナー／分野融合の取り組み／研究相談
- 支援や相談、研究交流による有機的な連携を促進

卓越した研究者や企業出身者などからなるメンター集団

次世代研究者挑戦的研究プログラム支援室